

見て、聴いて、動いて。 現場から。

—— 最近の活動からピックアップ ——



川越市文化創造インキュベーション施設(コエトコ)を視察しました。

コエトコは市指定文化財の歴史を守りながらクリエイターの創業支援や地域課題の解決、市民の交流を通じた新たな価値創造の拠点です。世代や立場を超えたアイディアが集まり、地域の課題を楽しく解決している居場所にもなっています。

川越市の事例を参考に、戸田市ならではの『地域課題を楽しく解決できる居場所づくり』を具体的に提案していきます。

セカンドキャリアの居場所づくり

男・本気のパン教室

長年頑張ってきた仕事をリタイアした後も、人や社会とつながりを持ち続けるための活動です。居場所を作るだけでなく、役割を持ちながら地域とつながっています。



市議会議員としての活動を始めてから、9か月が経ちました。

市民の皆さまから寄せられる思いに耳を傾けながら、日々の活動では戸田市の事業、他自治体の事例、県や国の方針等を勉強しております。こうした学びと皆さまのお声をもとに、一般質問を行い、身近な暮らしの課題について提案してまいりました。

議会での議論だけでなく、地域行事や市内の団体活動にも積極的に参加し、対話を大切にしております。皆さまの気づきは、制度と現実の間にある課題を見つけ出す大切な手がかりです。これからもひとつひとつ丁寧に政策へとつなげてまいります。

皆さまのお声が、市政をより良くする力です。どうぞ引き続き、率直なご意見をお寄せください。

辺見 智子

わたしの歴史



無所属

へんみ ともこ
辺見 智子

News Letter

市政報告レポート

戸田市議会議員 最年少

vol.02

戸田市中町在住

<https://henmitomoko.com>

080-6351-8654

info@henmitomoko.com



討議資料

一般質問

6月定例会
9月定例会

女性の身体の変化における支援

女性の身体は、生理・妊活・更年期などライフステージごとに変化があり、多くの方が体調不良や不安を抱えています。しかし「我慢するもの」「誰にも言えない」とされ、医療や相談につながらないケースが少なくありません。

そこで私は、市に対し「正しい知識の周知」「気軽に相談できる窓口」「妊活・不妊治療支援」「検診の受診率向上」について質問しました。

市からは、女性向け健康教室や相談窓口、がん検診や不妊治療助成などの施策を実施しているとの答弁がありました。今後は若年層や無関心層にも届く広報を工夫していくとのことでした。

私は女性の健康課題を「自己責任」ではなく「社会全体で支える」姿勢が必要と考えています。誰もが安心して自分の身体と向き合える戸田市を目指し、引き続き取り組みます。



戸田市公式LINEの活用方法



Q 戸田市公式LINEは粗大ごみ申し込みや産前産後ヘルプ申請など便利な機能がありますが、さらに市民が使いやすくなる発展の可能性があると考えます。今後どのように活用していくのでしょうか。

A 本市では、11月のホームページのリニューアルにあわせてLINEの画面デザインを刷新し、他自治体の事例も参考に機能拡充を検討してまいります。

Q 緊急時のお知らせは「市からのお知らせ」を選んだ方にしか届かないケースがありました。全員に確実に情報が届く仕組みが必要ではありませんか。

A ご指摘のとおり、運用ルールに明確な定めがなかったため、今後は緊急時には登録者全員に配信できる仕組みを整備してまいります。

Q 公式LINEに登録する市民が、戸田市の情報を取りやすく、使いやすいような機能を拡充をお願いしますと幸いです。



「自転車用ヘルメット着用促進補助金」令和8年度末終了

自転車は通勤・通学や買い物、子どもの送迎など日常生活に欠かせない交通手段ですが、事故では頭部損傷が最も命に関わります。大規模研究では、ヘルメットを着用することで頭部損傷は約50%、重い損傷は70%減、死亡リスクも大幅に低下することが示されています。

戸田市では令和8年3月末まで「自転車用ヘルメット着用促進補助金」を実施しています。9月議会では市民への周知徹底を要望しました。

大人も子どもも自転車を乗る時には同じリスクがあります。ぜひこの機会に補助金を活用し、ご自身やご家族の安全のためにヘルメットを着用を習慣化しましょう。

